

**豊中市** 高校スポーツ発祥の地  
とよなか!

野球、アメリカンフットボール、ラグビー、サッカーなど、全国の高校生大会が開催された豊中グラウンドがあったまちです。

■**中核市(平成24年)**  
大阪市内に近い地の利と、起伏に富んだ丘陵地帯は、早くから絶好の住宅地として選ばれ、文教都市の名声が高まるにつれ、人口が急激に増え市街地も大きく広がりました。

■**抜群の広域アクセスを誇るまち**  
阪急電鉄や大阪モノレール、北大阪急行、阪急バス等の公共交通機関が充実しています。また、阪神高速11号池田線、中国縦貫自動車道、名神高速道路、国道176号や423号(新御堂筋)など道路網が市内を縦横に走っています。さらに、大阪国際空港から全国各地へ空路でつながるなど、市内や広域の交通利便性を支えています。

■**音楽あふれるまち**  
豊中市内には日本センチュリー交響楽団や大阪音楽大学などの音楽環境があることから、「音楽あふれるまち とよなか」と銘打ち、子どもたちへのフルオーケストラコンサートや、市内の神社や教会でのアンサンブルコンサートなど、様々な音楽イベントを実施しています。

<学校数> 令和8年(2026年)4月(予定)  
小学校35校・中学校15校・義務教育学校2校  
<https://www.city.toyonaka.osaka.jp>

**池田市** 「人と自然と文化」が  
調和するまち池田

「事始めのまち」として、阪急東宝グループを築いた小林一三氏や日清食品の創業者である安藤百福氏ゆかりの地である池田市は、大阪府北西部に位置し、五月山や猪名川などの自然に恵まれ、駅前を中心に商業施設が充実した住みよいまちです。

「大阪みどりの百選」にも選ばれている五月山公園は、春は桜、秋は紅葉の名所となっています。また、公園内には、「五月山動物園」があり、ワビヤアルパカ、珍しいウォンバットなどが飼育されています。本市のマスコットキャラクター「ふくらくん」は、ウォンバットをモチーフにしています。



<学校数>  
小学校9校・中学校4校・義務教育学校1校  
<https://www.city.ikedata.osaka.jp>

**箕面市** 地域の絆で守る、  
子どもたちの笑顔

「大阪で一番安全なまち」をめざし、全ての通学路や公園に防犯カメラを設置。その数は、約2,000台!設置前と比べて、子どもへの声かけなど不審者情報やひったくりなどが半減し、効果は抜群。また、防犯カメラ設置費用の補助もしているため、自治会も地域にカメラを設置し、市民協働で防犯力を高めています。



<学校数>  
小学校12校・中学校6校・小中一貫校2校  
<https://www.city.minoh.lg.jp>

**大阪府豊能地区とは**

大阪府の北西に位置する、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の3市2町を豊能地区と呼んでいます。大阪国際空港やJR新大阪駅に近接する成熟した都市部と、季節ごとに様々な表情を見せる魅力的な自然環境を併せ持った地区です。豊能地区は全国で唯一、市町共同で教員採用選考を実施しており、毎年各地からこの豊能地区で先生になることをめざす、多くの方にお願いいただいております。



**豊能町** 人とみどりが輝くまち  
とよの

大阪府の北部にあり、北摂連山に囲まれた自然豊かなまち、「豊能町」。棚田が一面に広がり、川のせせらぎ、風の音が聞こえる「いなか」の顔と、整備された住宅地が続き、自然と調和した「まち」の顔を併せ持った町です。自然や立地に恵まれた環境のほかに、歴史も特徴的。かつてこの地はキリスト教信仰が行われ、キリシタン大名として名高い福者・高山右近の生誕地です。また、「豊能御影石」がとれる「石の町」として、史跡や石仏・石塔などが各地に残されています。



◆下記のイメージビデオ「とよのデイズ」をご覧ください。  
<https://www.town.toyono.osaka.jp/page/page002396.html>

<学校数> 令和8年(2026年)4月(予定)  
義務教育学校2校  
<https://www.town.toyono.osaka.jp>

**能勢町** 人・地域・地球の健康を守り  
縁をつなぐ  
開かれたまち能勢

能勢町は、大阪府の北端に位置し、豊かな里山の自然と歴史に恵まれて生命を育み、独自の文化を持つまちとして発展してきました。里山の自然資源や人々のつながりを基軸として、人と人、里山と街をつなぎ、自立的で魅力あふれるまちづくりをめざしています。



<学校数>  
義務教育学校1校  
<https://www.town.nose.osaka.jp>

豊中市 池田市 箕面市 豊能町 能勢町

令和9年度(2027年度) 大阪府豊能地区 公立学校

# 教員募集

出願期間 令和8年(2026年)3月23日(月)～4月24日(金)

選考職種 小学校教諭・中学校教諭・養護教諭

出願方法 インターネットによる電子申込  
※詳しくは「令和9年度(2027年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト受験案内」をご覧ください。

採用までの日程

|                                                                                                                                                                  |                                                                                                       |                                      |                                                                                                                                                                              |                                      |                                                                                   |                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| <p><b>願書受付</b></p> <p>■電子申込(インターネット)<br/>令和8年(2026年)3月23日(月)～4月24日(金)<br/>※初日は10時から、最終日は17時までの受付有効。<br/>※詳しくは「令和9年度(2027年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト受験案内」をご覧ください。</p> | <p><b>第1次選考</b></p> <p>■筆答テスト<br/>6月13日(土)<br/>■面接テスト<br/>6月30日(火)～7月5日(日)<br/>※期間内のいずれか1日を指定します。</p> | <p><b>1次結果発表</b><br/>7月24日(金) 予定</p> | <p><b>第2次選考</b></p> <p>■筆答テスト<br/>8月8日(土)<br/>■実技テスト<br/>8月1日(土)、8月3日(月)<br/>8月8日(土)、8月23日(日)<br/>※校種教科により異なります。<br/>■面接テスト<br/>8月18日(火)～8月22日(土)<br/>※期間内のいずれか1日を指定します。</p> | <p><b>2次結果発表</b><br/>9月29日(火) 予定</p> | <p><b>採用前セミナー</b></p> <p>■健康診断<br/>■採用先市町決定通知<br/>■オリエンテーション<br/>12月中旬～2月下旬予定</p> | <p>採用・辞令交付式</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------|

問い合わせ先 大阪府豊能地区教職員人事協議会事務局 採用グループ  
〒561-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1(豊中市役所内)  
電話:06-6858-3341 ホームページ: <https://toyono-jinjikyoo.com>

豊能地区 教員採用 検索

<講師登録のご案内>  
豊能地区講師希望者登録も随時受け付けています。



問い合わせ先 大阪府豊能地区教職員人事協議会事務局 採用グループ  
〒561-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1(豊中市役所内)  
電話:06-6858-3341 ホームページ: <https://toyono-jinjikyoo.com>

豊能地区 教員採用 検索

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

とよなかし  
**豊中市**  
TOYONAKA CITY

豊かな夢を子どもたちに  
ともに描く学びと創造のまち とよなか  
～大きな夢を抱いて ほがらかに生きよう～



庄内よつば学園イメージ図

■庄内地域に豊中市2校目の義務教育学校が開校

9年間を見通した一貫性のある指導を行い、「自ら考え、行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子ども」を育成することをめざしています。令和5年(2023年)4月に開校した庄内さくら学園に続いて、令和8年(2026年)4月には庄内よつば学園が開校します。

■教職員の働き方改革を推進

教員業務支援員を市立学校全校に配置、学校運営支援員(校長OB等)による巡回訪問および教職員からの相談対応、勤務時間外の留守番電話対応、携帯電話の配備、学校行事の精選、定時退勤日の設定、学校閉庁日の導入等の取り組みを行い働きやすい職場環境づくりに努めています。

■ICT活用のための環境整備

児童生徒用の1人1台タブレット端末は、家庭をはじめとした学校外での学習でも端末を活用できるよう、iPadのLTEモデルを配備しています。加えて、教員用端末の整備や、ICT支援員の配置もおこなっています。また、生成AIや情報セキュリティ、デジタル・シティズンシップ教育等の教職員研修を実施しています。

■マチカネ先生塾及び教員サポートシステム

教員をめざす学生向けの「マチカネ先生塾」では、豊中市の歴史や地域に根付く多様性について学ぶとともに、経験豊富な学校運営支援員(校長OB等)が授業力のサポートを行っています。また、豊能地区(3市2町)の研修に相互参加できるなど、研修制度も充実しています。立地に恵まれ、世界に開かれた多様性の街、豊中で教員としての一歩を踏み出そう!



マチカネ先生塾

■大学との連携～サウンドスクール事業～

大阪音楽大学との連携により、子どもたちが音楽のすばらしさに触れる機会を充実させ、豊かな人間性を育み、「音楽が溢れる学校づくり」をすすめています。

■多文化共生

外国にルーツのある児童・生徒に対する様々な学習支援や居場所づくり等支援施策に取り組むとともに、互いに認め合い、尊重し合い、ともに生きる多文化共生教育を進めています。また、ユネスコ・スクール参加校等は国内外の学校との協働授業に取り組んでいます。

大阪府  
の  
豊能地区で  
先生という  
生き方を



いけだし  
**池田市**  
IKEDA CITY

池田で学ぶすべての子どもたちに  
「学ぶ喜び」を!

■小中一貫教育の推進

市内すべての中学校区を「〇〇学園」と呼称し、幼児教育から義務教育9年間へとつながる「学びの連続性」を大切にしながら小中一貫教育を推進しています。異学年交流や小中交流・小中交流を通じて、子ども同士のつながりや教職員間のつながりを豊かにし、校種を越えた一体感のある教育活動を展開しています。



体験入学

■外国語教育の推進

全小学校と義務教育学校前期課程に「英語専科教員」を配置し、1年生から6年生までの系統的な英語指導を進めています。また、教育課程特例校制度を活用し、小学校1・2年生では、年間15時間の「英語活動」を設定し、ALTとともに低学年から英語の音や表現に慣れ親しむ学習活動を展開しています。

■最適なICTの環境を整備

全ての小・中・義務教育学校の各教室に電子黒板を整備し、児童生徒一人一台タブレット端末を導入しています。教職員にもタブレット端末を貸与し、ICT機器を効果的に活用した授業づくりや校務の効率化に向けた取り組みを進めています。



授業の様子

■支援教育体制の充実

市内小・中・義務教育学校に「支援教育チーフコーディネーター」を配置し、横のつながりや縦のつながりを意識した支援教育の充実を図っています。一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を行うため、教職員研修や巡回指導などを通して、子どもを多面的に理解する視点を育んでいます。また、市内の幼・小・中・義務教育学校に「通級指導教室」を設置し、個々の特性に応じた指導を進めています。



■地域社会との連携

学校、家庭、地域が協働し、子どもたちが生き生きと活動できる「教育コミュニティづくり」を推進しています。また、留守家庭児童会の機能拡充のための環境整備を進め、放課後等における子どもの居場所づくりや家庭教育支援にも取り組んでいます。

■ふくまる教志塾で人材の育成

市内での教職をめざすかたを対象に、教員養成塾「ふくまる教志塾」を開塾し、学校現場で子どもたちとともに学ぶ「現場実習」と学識経験者や現職教員から教育の「今」を学ぶ「教員養成講座(セミナー)」の二本柱で、教員としての資質・能力を育成しています。



ふくまる教志塾

みのおし  
**箕面市**  
MINOH CITY

子どもたちの豊かな学力を育む、  
最新の教育環境

■小・中学校では毎日英語教育を実施

市内の全小・中学校の全学年で、英語の学習を毎日実施しています。さらに、各校でALT(外国語指導助手)とのチームティーチングを実施し、学校の授業だけでなく、高い英語力を身につけることができます。箕面から世界へ活躍できる子どもたちを育てています。



英語教育の推進

■全ての小・中学校で9年間一貫した教育を実施

箕面市では市内の全小・中学校で、小中一貫したカリキュラムが組まれており、子どもたちはのびのびと成長できます。なかでも、「とどろみの森学園」と「彩都の丘学園」は9年間同じ敷地で学べる施設一体型の小中一貫校で、市内の小中一貫教育をリードしています。

■ICTを活用した授業・保護者との連絡

箕面市では、全児童生徒に配備された1人1台のタブレット端末を使い、一人ひとりの課題に応じたドリルに取り組みなどして個別最適化された学習を進めています。また、学習支援ソフト「tomoLinks」を活用し、オンライン上でのプリント配布や回収を行うことが可能です。デジタル連絡帳を活用することで、児童生徒端末のみならず保護者のスマートフォンにも反映され、正確かつ迅速に連絡事項を伝えることができ、教員と保護者の負担を軽減しています。



tomoLinksの活用

■「箕面の授業の基本」で指導のスタイルを確立

箕面版・授業の手引きを活用することで、すべての先生が子ども主体の課題解決型授業を展開しています。

■「ぴあ・カレッジ」で教員養成

箕面市の教員を志す学生および講師のかたを対象に教員養成セミナーを実施しています。グループワークや体験型の学びを多く取り入れており、受講生同士のつながりを大切にしています。「人間関係づくり」「ICT教育」「授業づくり」「生徒指導」「支援教育」「人権教育」など様々な教育内容について学び、考え、子どもたちの豊かな人生を切り拓くために必要な教員としての資質・能力を育んでいます。



とよのちよう  
**豊能町**  
TOYONO TOWN

「豊かな自然」と「豊かな人材」を活かし  
「豊かな子ども」を育てる

～めざす子ども像～  
豊能町に誇りをもち、自信をもって社会を生き抜く子ども

■地域とともにある義務教育学校の設立

令和8年4月、義務教育学校(2校)「豊能町立とよの東学園」「豊能町立とよの西学園」を設立し、新しい学びの段階「4・3・2制」を導入していきます。



開校に向けて学校運営協議会で協議

■保幼小中一貫教育の推進

0歳から15歳までの15年間の「学び」と「育ち」をつなぐ一貫した教育を推進し、「確かな学び」と「豊かな心」の育成、「グローバル人材(\*)」の育成をめざします。  
\*「グローバル人材」とは、グローバル(世界)とローカル(地域)を合わせた言葉で、どちらの視点も持てる豊かな人材のこと。



交流学習(小・中の交流)



保育実習(保幼・中の交流)



体育・運動あそび(保幼・小の交流)

■「とよの未来科」の本格実施

地域資源を最大限活用した、豊能町だからこそ学べる「体験的・探究的な学習」を就学前から行います。「とよの」の宝物について学び、グローバルな視点で「豊能町の未来」のために自分たちでできることを考える学習を行っていきます。



生き物探し(初谷川)

のせちよう  
**能勢町**  
NOSE TOWN

自分が好き 能勢が好き  
仲間とともに 夢がいっぱい



■義務教育学校～発達段階に応じた柔軟な指導・支援～

「もっと地域とともに」「もっと新しい学びへ」「もっとチームに」をスローガンに、町内でひとつの学校である能勢ささゆり学園が令和4年4月に義務教育学校に移行し、9年間の学び・生活を効果的につないでいます。

■働きやすい環境

豊かな自然に囲まれ素直で元気な子どもたち、学校と協働する地域・保護者、あたたかい教職員集団、広々として充実した学校施設。小さな町ならではの充実した教育環境のもと、「夢」を持つ子どもたちを育成しています。

■地域とともにデザインしていく教育(地域を知り、教育活動を豊かに展開)

地域事業所インターンシップ、地域探検、川遊び(鮎つかみ)など、地域の方の協力を得て、自分たちで考えて行動する取組を推進し、子ども本来の力を引き出す「ほんもの教育活動」を実践しています。

■学力向上サポート

ICTの活用推進、英語教育の充実(英語教育支援員の配置など)、探究的な学びプログラムの導入、能勢分校との連携など、様々な機会を設け、確かな学力の定着をめざしています。

■子どもの安心サポート

福祉との連携、SC・SSW等の多職種で構成するチーム学校、コミュニティ・スクールの取組、支援教育の充実、通級指導教室の開設など、学校×地域×行政で一人ひとりの子どもを大切に育てる教育を進めています。

■体力向上サポート



大学と連携し、授業支援・体力向上プログラムやイベントを実施し、元気でたくましい子どもの育成に努めています。

